



県会議員 おかべ光子

クローバー通信 No.3



経済

栃木県産品の輸出促進について 福田知事に質問！

Q、おかべ光子

海外での日本食ブームに、日本産品は今後も輸出増加が期待されますが、栃木県も市町商工団体、農業団体など一体となり、オール栃木でグローバル展開を目指すことが重要です。トップセールスを行う栃木型大使館外交を併せて展開すべきと考えます。そこで県では今後、県産品県産農産物の輸出促進についてどのように取り組んでいくのでしょうか？

A、福田富知事
本年、策定した栃木国際戦

略では、戦略の4本柱の一つとしてグローバル展開の促進を位置づけ、輸出の基礎的知識習得から、商談会の参加までを貫いてサポートする、実践型連続講座の開催や、海外向け商品開発、改良への助成、県産牛肉や県産米の輸出拡大に向けた関係団体の連携による生産や販路の拡大等への支援に加え、JETROと連携したオンライン取引セミナーの開催及び海外のインフルエンサーを活用した重点エリアでの情報発信等にも取り組んでいく。さらに、私自身が関係国の大使館等を訪問し、トップセールスを行う栃木型大使館外交を再開し、本国に大きな影響力を有する大使等に県産品県産農産物の魅力を実力を余すことなくPRしていく。

子供虐待の防止

Q、おかべ光子

児童館や図書館の休館、放課後児童クラブ等の利用自粛要請などで、社会で子どもたちを観る目が減っています。学校でも、教師が子供

たちと向き合う時間が減少し、加えて家庭訪問も難しい状況です。さらにはマスク着用で表情も分かりにくくなっており、子供たちのSOSを見逃してはいないか！そこで家庭内では児童虐待が潜在化していると捉えて、兆候をつかむ対策を早急に練るべきと考えますが、所見を伺います。

A、中山保健福祉部長

児童相談所虐待対応ダイヤル189番や市町の子育て相談窓口等の周知に加え、民間団体等に対し見守りへの協力の働きかけを行っている。今後とも地域の様々なネットワークを総動員して、子供を見守る体制を強化し、虐待の早期発見・早期対応に努めていく。

A、野井警察本部長

県警察と県保健福祉部との間で児童虐待に関する協定を締結し、情報を共有する取り組みが続いている。現在までに、県内3つの児童相談所全てに警察官OBが配置され連絡体制を強化するとともに、線の職員同士が参加する連絡会議や合同研修等を実施し、さらなる連携強化に努めていく。

防災 旗川の河川改修工事



兩岸が越水した旗川

Q、おかべ光子

県民の安全で安心な暮らしを早急に確保する為、旗川の河川改修工事、県道赤見町本線旗川橋から足利市寺岡町迄の4.2キロ区間を早急に事業化すべきと考えますが、当局の考えを伺います。

A、田城県土整備部長

旗川は国との管理境から、下流を管理する国との調整が整わず、事業に着手ができていない状況の中、令和元年東日本台風では、周辺に大規模な浸水被害が生じてしました。

JR両毛線から稲岡橋までの2.2キロ区間につき、国管理区間の改修を待たずに

子供を産み育てやすい社会を目指します!!

待機児童を減らしました! 169人 → 74人
令和1年度 令和2年度

♥定員拡大 県から、保育所や認定こども園の新設、増改築等の促進し、利用定員が拡大を図りました。

♥人材確保 とちぎ保育士、保育所支援センターにおいて各種相談や情報提供、潜在保育士の再就職支援、保育人材の確保に取り組みました。

子育ての経済的負担軽減

♥助成拡大 多子世帯における幼児期子育てに係る経済的負担軽減のため、第3子以降保育料等免除事業について令和3年から新たに、1号認定子ども、子育て支援新制度未移行幼稚園児の副食費を助成対象としました。

子育て支援の整備へ

♥土台作り 「ようこそ赤ちゃん! 支え愛事業」の更なる円滑な実施にむけ、質問票等の活用の標準化に向けた市町医療機関等、関係者に向けた研修会やネットワーク会議を実施。支援を強化しました。

*「ようこそ赤ちゃん! 支え愛事業」は、栃木県内に住む全ての母親等が、社会的に孤立することなく地域全体で子育てを支えられているということを実感でき、妊娠から出産、子育て期までの切れ目のない支援が受けられる体制の整備に資することを目的としています。

地域の課題を解決し、県南の中核的都市を目指す佐野市と県の発展に寄与します!

国道50号沿線開発

♥開発構想 企業誘致、観光、商業機能の活性化が期待できる国道50号沿線の、羽田工業団地周辺からアウトレット・アグリタウン周辺の開発を推進していきます。

広域経済圏・広域防災体制の実現へ

♥実現化へ 渡良瀬川への新たな架橋を含む南部幹線道路の整備を見据え、群馬、埼玉を含む広域経済圏及び広域防災体制を確立し、佐野市と県の発展に寄与するよう訴えました。

(*令和元年度栃木県議会第358回通常会議) 今後更に、関係機関に引き続き働きかけてまいります。



*一般質問の内容は栃木県議会中継の「おかべみつこ」のページにてご覧いただけます。

4つの約束(クローバー)の再点検

東日本台風、新型コロナウイルスといった予想だにし得なかった事が起こり、選挙の時に掲げた「4つの約束」に対し十分な活動が出来ませんでした。不出来は不出来なりに、この2年間の活動報告と、そして今後に向けて、もう一度考えをお伝えしたいと思います。

女性の社会進出と活躍ができる社会を目指します

テレワークの普及で女性の活躍推進

♥提言! 新型コロナウイルス蔓延という不測の事態で、テレワークという新しい働き方が現実のモノとなってきました。女性が活躍する機会が創出される可能性が見えてきたように思えます。通勤時間が不要になる反面、時間軸という仕事の評価基準が薄れることで成果主義の増大で有ったり、コミュニケーション不足といった負の側面を持つことも否めません。それらを検証しながら、女性がそれぞれの生活環境に合わせながら多様で柔軟な働き方を選択でき、あらゆる場で活躍できる社会環境づくりを推進していきます。

女性活躍の計画策定の促進(全国6位から、4位へ)

♥行政の取組 県内の中小企業にアドバイザーを派遣(のべ104社)して、「女性活躍推進方に基づく一般事業主行動計画」の策定のお手伝いをしました。結果、令和1年度297社だったものが令和2年度では381社と84社も増えました。

高齢者が安心して暮らせる社会を目指します!!

地域包括ケアシステムの推進

♥事業拡大 市町による一般介護予防事業の取り組みが進展し、通い場の設置数が増加した事や、活動内容の多様化で高齢者の参加率が上がりました。また、訪問介護事業所の訪問介護職員数は、人材養成、体制整備等の事業効果により順調に目安値を上回りました。

*地域包括ケアシステムとは、要介護状態となっても、住み慣れた地域で自分らしい生活を最後まで続けることができるように地域内で助け合う体制。

介護予防・フレイル予防促進

フレイルとは、「加齢により心身が老い衰えた状態」

♥提案提言 大田原市の一般社団法人えんがおの「オンラインで高齢者と若者をつなぐ」孤立を防止する取り組みや、佐野市松井町松寿会の「朝の公園掃除」でお互いの健康チェックの事例を挙げ、県にさらなるフレイル防止の促進を訴えました。

* (令和2年度栃木県議会第365回通常会議(06月01日))

医療の充実・医師不足解消へ

県民10万人当たりの医師数 全国30位半ば

♥提案提言 卒後臨床研修医の県内誘致等を全国に展開すべきで、県外に栃木県地域医療支援センターサテライトオフィスを設置し、医師、研修医のUIターンを進めるべきと考えます。

皆さまのご意見をお寄せ下さい!!
おかべ光子事務所
・佐野市相生町673番地
・TEL:0283-23-5152
・FAX:0283-24-3017

QRコードで議会中継!!
詳しい内容は栃木県議会中継の「おかべみつこ」のページにてご覧いただけます。

、現況流下能力見合いで国の合意を得て暫定改修事業に着手し、測量設計を実施した。今後とも暫定改修区間の早期完成を目指すとともに、4.2キロ区間全体の事業化が図られるよう、国に強く働きかけていく。
第380回通常議会での7つの項目について、当局に質問しました。
上記3項目の他、栃木の歴史・文化芸術を通して地域活性化を図る取組について、新型コロナウイルス感染症の自宅療養者への支援について、中学校部活動の地域移行について、栃木県の歩行者の安全確保について